

- 問1 室町幕府の成立過程において、足利尊氏を支援した功績が認められ、豊前や豊後といった九州地方の国の守護に任命された有力な武士の一族を選びなさい。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 島津氏 2. 龍造寺氏 3. 大友氏 4. 北条氏
- 問2 15世紀から16世紀にかけての琉球王国は、自国の産物だけでなく、東南アジアの香辛料や中国の絹織物などを仕入れ、日本や朝鮮などの各地へ転売することで利益を得ていました。このような貿易の形態を何と呼ぶか答えなさい。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 朱印船貿易 2. 南蛮貿易 3. 中継貿易 4. 勘合貿易
- 問3 14世紀から15世紀の中世、各地で定期市が開かれ商業が活発化する中で、室町幕府の將軍たちを中心として育まれた文化の背景について述べたものとして正しいものはどれか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 幕府が政治の拠点を京都に置いたことで、公家の伝統と武家の気風が溶け合った。
2. 仏教の教えを否定し、現世の利益を重視する実利的な文化が公家の間で広まった。
3. 長崎の出島を通じて入ってきた西洋の学問が、武士の生活様式を大きく変えた。
4. 戦乱を避けた貴族が地方へ逃れたことで、農村を中心に町人文化が花開いた。
- 問4 室町時代から戦国時代にかけて、琉球王国が中国（明）から手に入れた陶磁器や生糸を日本や朝鮮、東南アジアへ転売し、逆に東南アジアの香辛料などを中国へ運ぶことで利益を上げた貿易の仕組みを何といいますか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
1. 朱印船貿易 2. 南蛮貿易 3. 勘合貿易 4. 中継貿易
- 問5 室町時代には農民たちが自衛や用水の管理のために惣と呼ばれる自治組織を結成しました。この惣村の成立背景と当時の農業の様子について述べた文として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 徳島県公立入試 類似)
1. 牛馬の利用や水車の普及、二毛作の広がりによって農業生産力が向上し、農民の結びつきが強まった。
2. 江戸時代に登場した千歯こきなどの脱穀用具が普及し、全国的に大規模な新田開発が進められた。
3. 二期作が全国に定着したことで、年2回同じ米を収穫できるようになり村の自立が進んだ。
4. 弥生時代以来の高床倉庫による収穫物の保管が主流となり、領主による直接支配が強化された。
- 問6 15世紀ごろ、沖縄本島の首里を中心とした琉球王国は、東アジアと東南アジアを結ぶ地理的条件を活かして、各地の特産品を仕入れては他国へ転売することで大きな利益を上げました。このような貿易の形態を何といいますか。 (2021年 新潟県公立入試 類似)
1. 勘合貿易 2. 南蛮貿易 3. 朱印船貿易 4. 中継貿易
- 問7 大宰府ゆかりの人物とその歴史的背景について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 南北朝時代、足利尊氏は後醍醐天皇の建武の新政を支えるため、大宰府を拠点として九州の武士をまとめ上げた。
2. 平安時代中期、菅原道真是摂関政治の全盛期を築いた藤原道長によって大宰府に左遷され、その地で没した。
3. 奈良時代、鑑真は聖武天皇の招きに応じて来日し、大宰府に設置された戒壇院で日本で初めて正式な授戒を行った。
4. 平安時代初期、最澄は遣唐使として唐へ渡る前に大宰府に滞在し、現地の寺院で天台宗を広めるための準備を行った。
- 問8 15世紀から16世紀に琉球王国が中継貿易の中心地として発展できた背景として、明との関係に基づいた理由として正しいものはどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 明から輸入した生糸や陶磁器を、琉球国内で高度な技術を用いて加工し、付加価値を高めてから輸出する体制が整っていたため。
2. 明から派遣された軍隊が琉球を統治したことで、東南アジア全域の貿易ルートを強制的に琉球へ集約させたため。
3. 明に対して朝貢を行い、正式な外交関係を維持することで、明の産物を優先的に入手し他国へ転売する権利を得ていたため。
4. 明が日本や東南アジア諸国との貿易を全面的に自由化した際、琉球が最も早く近代的な港湾設備を整えたため。
- 問9 鹿児島県の万之瀬川付近に位置し、東シナ海に面した芝原遺跡からは、室町時代の貿易に関わる遺物が出土しています。この地域を含む南九州で産出され、中国で火薬の原料として重宝されたことから、室町時代の対明貿易における主要な輸出品となったものは何ですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 硫黄 2. 木材 3. 真珠 4. 石灰
- 問10 室町幕府の統治機構は、先行する武家政権の仕組みを継承しながらも、地方統治を強化する特徴を持っていました。將軍の直下に置かれた役職と、東国の統治を担った組織の組み合わせとして正しいものを選択してください。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 執権と六波羅探題 2. 大老と長崎奉行 3. 老中と京都所司代 4. 管領と鎌倉府
- 問11 奈良時代の聖武天皇ゆかりの品々が納められている正倉院には、インドや西アジアを原産とする宝物が数多く見られます。これらの品々が当時の日本に伝わった歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 南蛮貿易を通じて、ヨーロッパの商人が銀と引き換えに西アジアの特産品を日本へ持ち込んだ。
2. 中国で発明された火薬や羅針盤がイスラム世界へ伝わる過程で、日本にもこれらの技術が直接伝来した。
3. 内陸アジアを横断するシルクロードを経由して唐へもたらされた品々が、遣唐使などによって日本へ運ばれた。
4. アイヌの人々との交易が活発になり、北方ルートを通じて西アジアの工芸品が京都へ流入した。
- 問12 15世紀後半に京都で始まった応仁の乱が、その後の日本社会に与えた影響を説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 応仁の乱の最中に足利尊氏が戦国大名に対して一斉に領地を返還させたため、幕府の直轄領が増大し、南北朝の対立が解消されるきっかけとなった。
2. 幕府が全国を統制する力が弱まり、各地で実力のある者が勢力を伸ばす下剋上の風潮が強まって、戦国大名が領国を独自に支配する時代へとつながった。
3. 長引く戦乱を収束させるために、足利義満が南北朝の統一を強行し、全国の武士を幕府の直接の家臣である戦国大名として組み込む制度を整えた。
4. 戦乱による被害を恐れた有力な守護たちが、幕府の権威を再興させるために協力して南北朝の合一を成し遂げ、戦国大名の出現を厳しく制限した。
- 問13 室町時代、交通の要所に現れた運送業者のうち、馬を利用して荷物を運んだ業者と、港などで物資の保管や委託販売、輸送を担った卸売業者の組み合わせとして正しい説明はどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 船を使い水路で物資を運んだのが馬借であり、街道で馬の管理を行ったのが問丸である。
2. 馬を使い陸路で物資を運んだのが馬借であり、港などで物資の保管や運送、卸売を担ったのが問丸である。
3. 幕府の許可を得て市場を独占的に管理したのが馬借であり、関所で通行税を徴収したのが問丸である。
4. 外国との貿易を専門に行ったのが馬借であり、江戸へ向かう五街道を整備したのが問丸である。